

平成25年度（2013）

出雲市病院事業会計

決算審査意見書

出雲市監査委員

監 査 第 4 8 号
平成26年(2014)7月22日

出雲市長 長 岡 秀 人 様

出雲市監査委員 周 藤 滋

出雲市監査委員 吾 郷 紘 一

出雲市監査委員 川 上 幸 博

平成25年度(2013)出雲市病院事業会計
決算審査意見書の提出について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された、平成25年度
(2013)出雲市病院事業会計決算及び附属書類の審査を行ったので、別紙のとおり意
見書を提出します。

目 次

第1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法	1
第2	審査の結果	1
第3	審査意見	1
第4	決算の概要	3
1	事業の概要	3
2	業務の状況	3
3	収支及び予算の執行状況	5
4	経営成績	8
5	財政状態	11
6	経営分析	13
(審査資料)		
別表1	病院事業比較損益計算書	17
別表2	病院事業比較貸借対照表	19

- (注) 1 文中及び表中の数値、比率は表示単位未満を四捨五入している。したがって、合計と内訳の計、差引が一致しない場合がある。
- 2 構成比率は、合計が100.0となるように一部調整した。
- 3 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
- 「0.0」＝該当数値はあるが、単位未満のもの
- 「－」＝該当数値のないもの
- 4 予算額・予算に対する決算額及び工事等の金額は、消費税及び地方消費税を含めた金額とした。
- 5 ポイントとは、百分率(%)間の単純差引である。

平成 2 5 年度 (2013) 出雲市病院事業会計

決 算 審 査 意 見 書

第 1 審査の概要

1 審査の対象

平成 2 5 年度 (2013) 出雲市病院事業会計

2 審査の期間

平成 2 6 年 (2014) 6 月 1 日から平成 2 6 年 (2014) 7 月 8 日まで

3 審査の方法

この決算審査については、提出された決算書及び附属書類が地方公営企業法に基づいて作成され、これらの書類に当年度病院事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているかどうか、計数は正確か否かを確認するとともに、会計帳票、証拠書類及び関係書類との照合等を行ったほか、関係職員から事情を聴取して審査を実施した。

続いて、当年度事業の経営内容を把握するために、計数の分析や各種の比率を算出し、予算の執行が公営企業の経営の基本原則である「経済性の発揮及び公共の福祉の増進」の趣旨に添って運営されているかを審査の主眼として考察した。

第 2 審査の結果

審査に付された決算書類及び附属書類は、ともに地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されており、計数的にも正確に処理がなされ、病院事業の経営成績並びに財政状態が適正に表示されていたことを認めた。

第 3 審査意見

平成 25 年度の決算審査は、『総合医療センター改革プランと平成 25 年度決算の比較』、『収益的収入の増加と医療型療養病床、検診科のあり方』、『収納状況』、『一般会計が負担する経費』等に重点を置いて審査にあたった。

当年度決算の中で、特徴的な点は、収益的収入において、外来での患者数の減少（対前年度比 2,446 人減）にも関わらず、前年度決算額 27 億 1,024 万円に対し、6,001 万円、率にして 2.2% 増の 27 億 7,025 万円の決算額となった点である。これは、入院収益については、一般病棟における内科および眼科の手術件数が増加したことや、療養病棟において延入院患者数が増加したこと、加えてスタッフ体制や患者の要件面が整ったことにより、平成 25 年 11 月から入院基本料の上位基準を取得したこと、また外来収益については、内科の内視鏡等検査料および放射線科の医療保険適用による画像診断料の増収が要因であると思われる。一方、収益的支出は、前年度決算額 30 億 7,370 万円に対し 1,019 万円、率にして 0.3% の増となり、30 億 8,389 万円の決算額となった。したがって、この金額に、たな卸資産の購入に含まれる仮払消費税および地方消費税分の雑損失約 1,168 万円を加えた収支差引は、3 億 2,532 万円の赤字決算となり、累積赤字は 39 億 1,328 万円となった。

結果的に赤字決算とはなかったが、収益的収入の増収により、前年度に比べ、5,048万円収支が改善しており、減価償却費等の現金支出を伴わない経費を除いた現金収支（償却前損益）は、改訂された「出雲市立総合医療センター改革プラン」の数値目標を2,271万円上回る4,379万円の黒字決算となった点も特筆すべき点である。

また、資本的収入は、前年度決算額1億8,336万円に対し、3,814万円率にして20.8%増の2億2,150万円となり、資本的支出は、前年度決算額3億170万円に対し、約1,040万円、率にして3.4%減の2億9,130万円となった。収入の増加要因は、愛宕苑繰上償還分の一般会計からの繰入金によるものが主要因であり、支出の減少要因は平成23年度末に総合医療センター施設整備事業が完了したことにより、建設改良費の支出が一旦落ち着いたことが要因と思われる。

なお、収支差引の不足額6,980万円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんされている。

以上を受けて、今後の経営健全化に向けて特に以下の4点について申し述べる。

①未収金回収について

病院事業会計の未収金の過去5年間の推移を見ると、特に滞納繰越分については、2,000万円前後で推移している。今年度から、未収金の回収について訪問徴収を課全体で行うとのことであるが、他市の例を参考にされながら、回収困難な未収金は、弁護士等、民間に回収を委託するなどし、職員は、未収金発生予防対策や発生直後の未収金の回収に専念することとし、効率的な業務が遂行されることを要望する。

②一般会計が負担する経費（一般会計からの繰入金）について

地方公営企業法第17条の2、同法施行令第8条の5に病院事業に係る経費のうち、当該地方公共団体の一般会計等が負担する経費が規定されており、「救急医療確保に要する経費（医師等の待機及び空床の確保等救急医療の確保に必要な経費）」はこれに該当する。平成20年度まではこの規定による経費を総務省通知の繰出基準によって一般会計が負担しており、平成20年度には7,520万円が一般会計から繰り入れられていた。しかし、平成21年度以降は、病棟建設工事等により病床利用率が70%前後で推移したこと等から市側と協議の結果、「普通交付税算入額を繰入の上限額とする」ことに変更されたとのことである。結果、平成25年度決算における一般会計からの繰入金は4,478万円となったが、仮に総務省通知の基準に基づき算出した場合は8,570万円で、差額は4,092万円となる。さらに、平成23年度末に建設工事が完了し2年余りが経過した平成25年度の病床利用率は80%近くまで回復した現状を見ると、一般会計からの繰入金の増額について、市側と再度検討する時期に来ていると考える。参考までに同規模の公立病院における平成24年度の医業収益に占める一般会計等の負担比率は、総合医療センターが12.1%であるのに対し、18.3%であり、さらに同規模病院のうち赤字病院に占める負担比率は18.7%であることを申し添える。

③企業債の借入れと償還について

高額医療機器の更新は、企業債の借入計画（3,000万円/年）とは別であるため、改革プランのローリングを今後行う予定とのことだが、償却前損益の黒字化達成の次のプロセスとして、内部留保資金の増加を目指す中、新たな企業債借入の低減や完済目途を見据えたローリングを、経営企画監など民間のノウハウを十分に活用して構築されたい。

④薬品の在庫管理について

院内物流管理システム導入前の薬品の使用期限切れや、患者の容態の変化による高額薬品の処方取りやめなどの理由で、たな卸資産減耗費が増加したとのことだが、システム導入前後の費用対効果や適正在庫数を再度検証され、薬品費・たな卸資産減耗費の削減に努められたい。

第4 決算の概要

1 事業の概要

平成25年度は、地方公営企業法の全部適用へ経営形態を移行し、病院事業管理者のもと、新体制での運営を開始した2年目にあたる。

また、平成24年1月の医療型療養病棟の設置に伴う病棟の再編等により、一般病床147床、医療型療養病床52床の計199床で診療が行われている。

2 業務の状況

平成25年度の実患者総数は129,439人で、前年度(131,464人)に比べ2,025人(1.5%)の減となった。

内訳としては、外来患者数が72,208人で、前年比2,446人(1日平均8.8人)の減となったが、入院患者数は57,231人で、前年比421人(1日平均1.2人)の増となった。

病床の利用率については、前年度を0.6ポイント上回り78.8%となった。

また、患者(入院・外来計)一人一日当たりの診療収入は18,192円で、前年度(17,326円)に比べ866円の増となったが、一人一日当たりの費用についても22,658円となり、前年度(22,222円)より436円の増となった。

業務の状況は、次の表のとおりである。

区 分		単位	平成25年度	平成24年度	対前年度比較			
					増 減	増 減 率 (%)		
病 床 数	一 般 病 床	床	147	147	0	0.0		
	療 養 病 床	床	52	52	0	0.0		
	計	床	199	199	0	0.0		
利 用 患 者 数	入 院 (病床別)	一 般	年 計	人	41,875	43,481	△ 1,606	△ 3.7
			一 日 平 均	人	114.7	119.1	△ 4.4	△ 3.7
		療 養	年 計	人	15,356	13,329	2,027	15.2
			一 日 平 均	人	42.1	36.5	5.6	15.3
		計	年 計	人	57,231	56,810	421	0.7
			一 日 平 均	人	156.8	155.6	1.2	0.8
	診 療 日 数	日	365	365	0	0.0		
	外 来	外 来	年 計	人	62,322	65,517	△ 3,195	△ 4.9
			一 日 平 均	人	255.4	267.4	△ 12.0	△ 4.5
		検 診	年 計	人	9,886	9,137	749	8.2
			一 日 平 均	人	40.5	37.3	3.2	8.6
		計	年 計	人	72,208	74,654	△ 2,446	△ 3.3
			一 日 平 均	人	295.9	304.7	△ 8.8	△ 2.9
	診 療 日 数	日	244	245	△ 1	△ 0.4		
合 計	人	129,439	131,464	△ 2,025	△ 1.5			
病 利 用 率	一 般 病 床	%	78.0	81.0	△ 3.0	△ 3.7		
	療 養 病 床	%	80.9	70.2	10.7	15.2		
	病 床 全 体	%	78.8	78.2	0.6	0.8		
入 院 外 来 患 者 比 率			44 : 56	43 : 57	—	—		
患 者 一 人 一 日 診 療 収 入	一 般 病 床	円	30,987	29,914	1,073	3.6		
	療 養 病 床	円	17,214	16,740	474	2.8		
	病 床 全 体	円	27,291	26,823	468	1.7		
	外 来	円	9,836	9,092	744	8.2		
	合 計	円	18,192	17,326	866	5.0		
患 者 一 日 当 た り 費 用	円	22,658	22,222	436	2.0			

平成 25 年度の標榜科目は、内科系（内科、消化器科、循環器科、神経内科、脳神経外科）、外科、皮膚科、整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、小児科、泌尿器科、精神科、放射線科、リハビリテーション科の 16 科目及び療養で構成されている。

なお、検診科については、診療収入には加算せず、科目数にも数えないこととし、平成 24 年度から区分された。

患者数を科目別に前年度と比較してみると、次の表のとおりである。

患者数が増加した主な診療科は、入院では 療養（2,216 人増）、内科系（378 人増）、泌尿器科（343 人増）、外来では 眼科（788 人増）である。特に療養は順調に患者数を増やしており、病床利用率も 80.9%（前年度 70.2%）と好調であった。また、検診科についても、前年度に比べて利用者が 749 人増加している。

減少した主な診療科は、入院では 外科（1,723 人減）、整形外科（800 人減）、外来では 整形外科（2,995 人減）及び 外科（1,068 人減）である。患者数が大幅に減少となった要因は、平成 25 年度内は、実質外科、整形外科の医師が 1 人減の状態にあったためである。

【診療科別患者数】

（単位：人）

区 分	平成 25 年 度			平成 24 年 度			比 較 増 減		
	外 来	入 院	計	外 来	入 院	計	外 来	入 院	計
内 科 系	24,480	17,455	41,935	24,824	17,077	41,901	△ 344	378	34
外 科	5,277	2,472	7,749	6,345	4,195	10,540	△ 1,068	△ 1,723	△ 2,791
皮 膚 科	2,442	0	2,442	2,386	0	2,386	56	0	56
整 形 外 科	10,657	11,588	22,245	13,652	12,388	26,040	△ 2,995	△ 800	△ 3,795
産 婦 人 科	1,444	0	1,444	1,404	0	1,404	40	0	40
耳 鼻 咽 喉 科	2,306	0	2,306	2,151	0	2,151	155	0	155
眼 科	3,289	195	3,484	2,501	4	2,505	788	191	979
小 児 科	1,249	8	1,257	1,487	2	1,489	△ 238	6	△ 232
泌 尿 器 科	6,614	2,732	9,346	6,667	2,389	9,056	△ 53	343	290
精 神 科	1,991	0	1,991	1,918	0	1,918	73	0	73
放 射 線 科	1,263	0	1,263	1,037	0	1,037	226	0	226
リハビリテーション科	1,310	7,236	8,546	1,145	7,426	8,571	165	△ 190	△ 25
療 養		15,545	15,545		13,329	13,329		2,216	2,216
検 診 科	9,886		9,886	9,137		9,137	749		749
計	72,208	57,231	129,439	74,654	56,810	131,464	△ 2,446	421	△ 2,025

3 収支及び予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出の状況

収益的収入は、対前年度比 60,012 千円 (2.2%) 増の 2,770,250 千円である。

一方、収益的支出は、対前年度比 10,188 千円 (0.3%) 増の 3,083,890 千円であり、この額に、たな卸資産の購入に含まれる仮払消費税及び地方消費税分を加減した収支は、325,320 千円の赤字決算となった。

しかし、赤字額は、医業収益の増や材料費など医業費用の節減により、対前年度比で 50,475 千円 (13.4%) 減となり、大幅な収支改善が図られた。

結果、前年度繰越欠損金 3,587,956 千円に、当年度純損失額 325,320 千円を加えると 3,913,276 千円の当年度未処理欠損金が生じている。

<収益的収入>

予算額 2,856,300 千円に対し、決算額は 2,770,250 千円 (執行率 97.0%) で、予算対比では、86,050 千円の収入減となった。

【収益的収入 (税込み)】

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額		予 算 対 比		前年度決算額
		決 算 額	内 仮 受 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	増 減 額	執行率	
病 院 事 業 収 益	2,856,300,000	2,770,250,224	14,037,673	△ 86,049,776	97.0	2,710,238,713
医 業 収 益	2,515,255,000	2,448,925,335	13,136,003	△ 66,329,665	97.4	2,386,355,862
医 業 外 収 益	341,045,000	321,324,889	901,670	△ 19,720,111	94.2	323,882,851

<収益的支出>

予算額 3,201,000 千円に対し、決算額は 3,083,890 千円 (執行率 96.3%) で、予算対比では 117,110 千円が不用額となった。

【収益的支出 (税込み)】

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額		予 算 対 比		前年度決算額
		決 算 額	内 仮 払 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	不 用 額	執行率	
病 院 事 業 費 用	3,201,000,000	3,083,890,307	27,858,354	117,109,693	96.3	3,073,702,307
医 業 費 用	3,076,632,639	2,960,719,646	27,830,047	115,912,993	96.2	2,949,220,051
医 業 外 費 用	123,171,361	123,170,661	28,307	700	100.0	124,482,256
特 別 損 失	0	0	0	0	—	0
予 備 費	1,196,000	0	0	1,196,000	0.0	0

(純損失)

前記の数値は税込みで表示されており、税抜き純損失は次の計算式による。

収入決算額 2,770,250,224 円(内仮受消費税及び地方消費税 14,037,673 円) 予算額 2,856,300,000 円

支出決算額 3,083,890,307 円(内仮払消費税及び地方消費税 27,858,354 円) 予算額 3,201,000,000 円

差引 △ 313,640,083 円

当年度純損失 325,319,779 円

収入決算額 2,770,250,224 円－ 仮受消費税及び地方消費税 14,037,673 円 = 2,756,212,551 円

支出決算額 3,083,890,307 円－ 仮払消費税及び地方消費税 27,858,354 円

仮受、仮払消費税及び地方消費税差額 たな卸資産購入に含まれる仮払消費税及び地方消費税
+ (13,820,681 円 + 11,679,696 円) = 3,081,532,330 円
純損失 325,319,779 円

(2) 資本的収入及び支出の状況

資本的収入は、対前年度比 38,134 千円 (20.8%) 増の 221,498 千円 (企業債 29,300 千円、他会計負担金 192,198 千円) である。

一方、資本的支出は、対前年比 10,400 千円 (3.4%) 減の 291,298 千円 (建設改良費 36,501 千円、企業債償還金 249,428 千円、退職給与金 5,369 千円) となった。

収支差引 69,800 千円の不足については、過年度分損益勘定留保資金で補てんされている。

<資本的収入>

予算額 222,615 千円に対し、決算額は 221,498 千円(執行率 99.5%)で、予算対比では、1,117 千円の収入減となっている。

【資本的収入 (税込み)】

(単位:円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額	予 算 対 比		前年度決算額
			増 減 額	執行率	
病院事業資本的収入	222,615,000	221,498,230	△ 1,116,770	99.5	183,364,536
企 業 債	30,000,000	29,300,000	△ 700,000	97.7	25,500,000
他 会 計 負 担 金	192,615,000	192,198,230	△ 416,770	99.8	129,571,536
寄 附 金	0	0	0	—	0
県 補 助 金	0	0	0	—	28,293,000
他 会 計 出 資 金	0	0	0	—	0

<資本的支出>

予算額 297,429 千円に対し、決算額は 291,298 千円(執行率 97.9%)で、予算対比では、6,131 千円が不用額となった。

【資本的支出(税込み)】

(単位:円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額		予 算 対 比		前年度決算額
		決 算 額	内 仮 払 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	不 用 額	執 行 率	
病 院 事 業 資 本 的 支 出	297,429,000	291,298,230	1,738,150	6,130,770	97.9	301,698,188
建 設 改 良 費	38,000,000	36,501,150	1,738,150	1,498,850	96.1	59,538,970
企 業 債 償 還 金	249,429,000	249,428,484	0	516	100.0	236,809,869
退 職 給 与 金	10,000,000	5,368,596	0	4,631,404	53.7	5,349,349

(3) 企業債借入の状況

建設改良事業に要する経費の財源とするため借り入れられた企業債(借入資本金)の当年度末未償還残高は、次表のとおりである。

前年度末(25.3.31) 未 償 還 残 高	平成25年度中(25.4.1~26.3.31)		当年度末(26.3.31)未 償 還 残 高
	借 入 額	償 還 額	
3,915,682,776	29,300,000	249,428,484	3,695,554,292

(単位:円)

借 入 利 率 別 残 高 内 訳 表							
利 率	0.10 %	0.20 %	0.30 %	0.40 %	0.50 %	0.65 %	0.80 %
未 償 還 残 高	23,500,000	29,300,000	25,613,296	4,325,808	154,367,035	145,538,346	2,000,000
利 率	0.88 %	1.10 %	1.15 %	1.70 %	1.90 %	2.10 %	3.40 %
未 償 還 残 高	25,762,281	2,316,080	3,000,938	1,551,600,000	383,200,000	374,600,000	172,760,645
利 率	3.65 %	4.40 %	4.65 %				
未 償 還 残 高	251,665,773	25,490,383	520,513,707				

(4) 一時借入金の状況

借入限度額 500,000 千円に対し、当年度の借り入れはなかった。

(5) 議会の議決を経なければ流用することのできない経費の状況

(単位:円、%)

区 分	予 算 額	執 行 額	不 用 額	執 行 率
病 院 事 業 費 用	1,879,880,000	1,809,042,710	70,837,290	96.2
職 員 給 与 費	1,879,180,000	1,808,549,225	70,630,775	96.2
交 際 費	700,000	493,485	206,515	70.5

(6) 棚卸資産の購入限度額の状況

購入限度額 1,000,000 千円に対するたな卸資産の購入額は、245,274 千円である。

4 経営成績

(1) 損益収支の状況

当年度は、総収益 2,756,213 千円、総費用 3,081,532 千円となり、差引 325,319 千円の純損失(前年度純損失 375,795 千円)であった。

これを前年度と比較すると、総収益は 59,654 千円(2.2%)の増、総費用は 9,179 千円(0.3%)の増となり、結果として、純損失が 50,475 千円(13.4%)縮減した。

事業の経営活動の成果は、次表「損益及び医業収益に関する比率」に示すとおりである。

損益及び医業収益に関する比率

(単位：%)

区分 \ 年度	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度	算 式
総 収 支 比 率	89.4	87.8	72.5	87.1	$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}}$
経 常 収 支 比 率	89.4	87.8	83.2	87.1	$\frac{\text{経 常 収 益}}{\text{経 常 費 用}}$
医 業 収 支 比 率	84.6	82.8	80.8	86.0	$\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{医 業 費 用}}$
経 常 利 益 比 率	△ 13.1	△ 15.5	△ 21.9	△ 15.7	$\frac{\text{経 常 利 益}}{\text{医 業 収 益}}$
利 子 負 担 率	2.4	2.3	2.4	2.2	$\frac{\text{支 払 利 息}}{\text{借入金+借入資本金}}$
〈医業収益に対する比率〉					
企 業 債 償 還 元 金 比 率	10.1	9.8	23.0	6.4	$\frac{\text{当 年 度 償 還 額}}{\text{医 業 収 益}}$
企 業 債 利 息 比 率	3.5	3.7	4.5	3.9	$\frac{\text{支 払 利 息}}{\text{医 業 収 益}}$
職 員 給 与 費 比 率	54.8	55.8	58.7	59.3	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{医 業 収 益}}$

※医業収益の金額は、平成24年度から決算統計での計算方法によるものとされた。

損 益 比 較 表 (税 抜 き)

(単位：円、%)

区 分	平成 25 年 度	平成 24 年 度	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増 減 率
総 収 益	2,756,212,709	2,696,558,274	59,654,435	2.2
総 費 用	3,081,532,488	3,072,353,435	9,179,053	0.3
医 業 収 益	2,435,789,332	2,373,561,916	62,227,416	2.6
医 業 費 用	2,932,889,599	2,921,385,688	11,503,911	0.4
医 業 損 益	△ 497,100,267	△ 547,823,772	50,723,505	9.3
医 業 外 収 益	320,423,377	322,996,358	△ 2,572,981	△ 0.8
医 業 外 費 用	148,642,889	150,967,747	△ 2,324,858	△ 1.5
医 業 外 損 益	171,780,488	172,028,611	△ 248,123	△ 0.1
経 常 損 益	△ 325,319,779	△ 375,795,161	50,475,382	13.4
特 別 損 失	0	0	0	—
純 損 益	△ 325,319,779	△ 375,795,161	50,475,382	13.4

なお、平成22年度以降の純利益等の状況は次表のとおりである。

(単位：円)

年度 区 分	平成 25 年 度	平成 24 年 度	平成 23 年 度	平成 22 年 度
純 利 益 (△ 純 損 失)	△ 325,319,779	△ 375,795,161	△ 926,708,030	△ 341,266,712
当 年 度 末 未 処 分 利 益 剰 余 金	0	0	0	0
当 年 度 末 未 処 理 欠 損 金	3,913,275,664	3,587,955,885	3,212,160,724	2,285,452,694
減 債 積 立 金	0	0	0	0

ア 収益について

収益の内訳は、次表のとおりである。

総収益は、2,756,213千円（前年度比59,654千円、2.2%増）である。

内、医業収益は、2,435,789千円（前年度比62,227千円、2.6%増）で、主なものは入院収益が1,561,913千円（前年度比38,103千円、2.5%増）、外来収益が612,973千円（前年度比17,306千円、2.9%増）である。

また、医業外収益は、320,423千円（前年度比2,573千円、0.8%減）で、主なものは会計負担金288,801千円（前年度比3,215千円、1.1%減）である。

収 益 内 訳（税抜き）

（単位：円、%）

区 分			平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
			金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
病 院 事 業 収 益	医 業 収 益	入院収益	1,561,912,655	56.7	1,523,809,662	56.5	38,102,993	2.5
		外来収益	612,973,271	22.2	595,667,171	22.1	17,306,100	2.9
		その他医業収益	260,903,406	9.5	254,085,083	9.4	6,818,323	2.7
		計	2,435,789,332	88.4	2,373,561,916	88.0	62,227,416	2.6
事 業 外 収 益	医 業 外 収 益	受取利息及び配当金	104,861	0.0	126,022	0.0	△ 21,161	△ 16.8
		他会計負担金	288,800,677	10.5	292,015,578	10.9	△ 3,214,901	△ 1.1
		患者外給食収益	581,097	0.0	657,181	0.0	△ 76,084	△ 11.6
		その他医業外収益	24,787,742	0.9	23,789,577	0.9	998,165	4.2
		補助金	6,149,000	0.2	6,408,000	0.2	△ 259,000	△ 4.0
		計	320,423,377	11.6	322,996,358	12.0	△ 2,572,981	△ 0.8
合 計			2,756,212,709	100.0	2,696,558,274	100.0	59,654,435	2.2

イ 費用について

費用の内訳は、次表のとおりである。

総費用は、3,081,532千円（前年度比9,179千円、0.3%増）である。

内、医業費用は、2,932,890千円（前年度比11,504千円、0.4%増）で、主なものは給与費の1,807,654千円（前年度比27,644千円、1.6%増）、材料費335,714千円（前年度比10,745千円、3.1%減）、経費436,520千円（前年度比1,538千円、0.4%減）、減価償却費340,481千円（前年度比3,789千円、1.1%減）である。

また、医業外費用は、148,643千円（前年度比2,325千円、1.5%減）で、主なものは支払利息の87,022千円（前年度比2,106千円、2.4%減）である。

費 用 内 訳 (税抜き)

(単位：円、%)

区 分			平成 25 年 度		平成 24 年 度		対 前 年 度 比 較	
			金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
病 院 事 業 費 用	医 業 費 用	給 与 費	1,807,654,270	58.7	1,780,010,209	57.9	27,644,061	1.6
		材 料 費	335,713,724	10.9	346,458,427	11.3	△ 10,744,703	△ 3.1
		経 費	436,519,616	14.2	438,057,341	14.3	△ 1,537,725	△ 0.4
		減 価 償 却 費	340,480,943	11.0	344,269,792	11.2	△ 3,788,849	△ 1.1
		資 産 減 耗 費	3,994,346	0.1	3,585,950	0.1	408,396	11.4
		研 究 研 修 費	8,526,700	0.3	9,003,969	0.3	△ 477,269	△ 5.3
		計	2,932,889,599	95.2	2,921,385,688	95.1	11,503,911	0.4
業 費 用	医 業 費 用	支 払 利 息	87,022,160	2.8	89,128,149	2.9	△ 2,105,989	△ 2.4
		患 者 外 給 食 材 料 費	576,750	0.0	661,700	0.0	△ 84,950	△ 12.8
		繰 延 勘 定 償 却	25,807,704	0.8	24,981,919	0.8	825,785	3.3
		雑 損 失	35,236,275	1.2	36,195,979	1.2	△ 959,704	△ 2.7
		計	148,642,889	4.8	150,967,747	4.9	△ 2,324,858	△ 1.5
特別 損失	そ の 他 特 別 損 失	0	0.0	0	0.0	0	—	
合 計			3,081,532,488	100.0	3,072,353,435	100.0	9,179,053	0.3

5 財政状態

資産及び負債・資本について前年度と比較すると、次表のとおりである。

資産及び負債・資本の内訳 (税抜き)

(単位：円、%)

区 分		平成 25 年 度	平成 24 年 度	対 前 年 度 比 較	
		金 額	金 額	増 減 額	増 減 率
資 産	固 定 資 産	5,143,071,463	5,451,606,504	△ 308,535,041	△ 5.7
	流 動 資 産	884,833,977	932,431,140	△ 47,597,163	△ 5.1
	繰 延 勘 定	233,786,637	252,487,595	△ 18,700,958	△ 7.4
	合 計	6,261,692,077	6,636,525,239	△ 374,833,162	△ 5.6
負 債 ・ 資 本	流 動 負 債	133,744,528	155,327,657	△ 21,583,129	△ 13.9
	資 本 金	4,709,192,386	4,929,320,870	△ 220,128,484	△ 4.5
	自 己 資 本 金	1,013,638,094	1,013,638,094	0	0.0
	借 入 資 本 金	3,695,554,292	3,915,682,776	△ 220,128,484	△ 5.6
	剰 余 金	1,418,755,163	1,551,876,712	△ 133,121,549	△ 8.6
	資 本 剰 余 金	5,332,030,827	5,139,832,597	192,198,230	3.7
	利 益 剰 余 金	△ 3,913,275,664	△ 3,587,955,885	△ 325,319,779	△ 9.1
合 計		6,261,692,077	6,636,525,239	△ 374,833,162	△ 5.6

(1) 資産について

資産の総額は6,261,692千円で、前年度に比べ374,833千円(5.6%)減少した。

ア 固定資産

固定資産の総額は5,143,071千円で、前年度に比べ308,535千円(5.7%)減少した。

なお、**固定資産構成比率**(固定資産と繰延勘定の合計が総資産に占める割合)は85.9%で、前年度86.0%に比べ0.1ポイント低くなっている。この比率は、高いほど「資本が固定化の傾向にある」と言われている。

イ 流動資産

流動資産の総額は884,834千円で、前年度に比べ47,597千円(5.1%)減少した。

これは、「現金預金」と「未収金」がともに減少(現金預金38,135千円減、未収金14,712千円減)したことによるものである。

なお、**流動資産構成比率**(流動資産の総資産に占める割合)は14.1%となり、前年度14.0%に比べ0.1ポイント高くなっている。この比率は、高いほど「流動性が良好である」と言われている。

(2) 負債について

負債の総額は133,745千円で、すべて流動負債である。前年度に比べ21,583千円(13.9%)減少した。

これは、主に「未払金」の減少(21,722千円減)によるものである。

なお、**流動負債構成比率**(流動負債の総資本に占める割合)は2.1%で、前年度2.3%に比べ0.2ポイント低くなっている。この割合が低いほど、資本構成は安定していると言える。

(3) 資本について

資本の総額は6,127,948千円で、前年度に比べ353,250千円(5.5%)減少している。

ア 資本金

資本金は4,709,192千円で、前年度に比べ220,128千円(4.5%)減少した。

これは借入資本金の減少(220,128千円減)によるものである。

イ 剰余金

剰余金は1,418,755千円で、前年度に比べ133,122千円(8.6%)減少した。

これは、資本剰余金192,198千円(3.7%)の増と、利益剰余金325,320千円(9.1%)の減との差引の結果によるものである。

平成25年度決算（貸借対照表）図表

（単位：円）

固定資産 5,143,071,463	総資産 6,261,692,077	総資本 6,261,692,077	負債 133,744,528	固定負債 0		
			資本 6,127,947,549	流動負債 133,744,528		
				借入資本金 3,695,554,292		
流動資産 884,833,977			自己資本 2,432,393,257	自己資本金 1,013,638,094	資本剰余金 5,332,030,827	
繰延勘定 233,786,637				剰余金 1,418,755,163	利益剰余金 △ 3,913,275,664	

6 経営分析

経営成績及び財政状態から企業財政の健全性とその収益性をみるための各種の比率分析については、15ページの経営分析表のとおりである。

なお、その主なものについて説明すると、次のとおりである。

(1) 財政の健全性

ア 自己資本構成比率

企業の長期健全性を表すこの比率は38.8%で、前年度38.7%に比べ0.1ポイント上昇している。自己資本の大半は剰余金である。

この比率は、高いほど「経営が安定している」とされている。

イ 固定比率

「固定資産が自己資本によってどの程度まで賄われているか」を表すこの比率は211.4%で、前年度212.5%に比べ1.1ポイント下降している。

この比率は、企業財政上の原則からすれば「100%以下が望ましい」とされている。

ウ 固定長期適合率（固定資産対長期資本比率）

「固定資産に対する資本調達の適合関係（固定資産の調達は、資本と固定負債の範囲内で行われるべきである）」を表すこの比率は83.9%で、前年度84.1%に比べ0.2ポイント下降した。

この比率は、「100%以下が望ましく、100%を超えた場合は固定資産に対する過大投資である」とされている。

エ 流動比率

「短期債務に対する現金・預金等の流動資産の支払能力(信用性の度合、支払能力の安全性)」をみるこの比率は661.6%で、前年度600.3%に比べ61.3ポイント上昇した。

この比率は、「流動資産が流動負債の2倍以上あるのが望ましい」とされている。したがって、理想比率は200%以上である。

オ 当座比率(酸性試験比率)

流動比率とともに支払能力をみるこの比率は634.5%で、前年度580.4%に比べ54.1ポイント上昇した。

この比率は、流動資産のうち現金・預金及び容易に現金化しうる未収金等の当座資産と流動負債を対比したもので、比率が高いほど「即時支払能力がある」ことを表し、通常「100%以上が理想比率」とされている。

(2) 企業の収益性(収益と費用)

ア 総収益対総費用比率(総収支比率)

総収益と総費用の対比により収益と費用の総体的な関連を表すこの比率は、「100%以上であれば黒字決算」、「100%未満の場合は赤字決算」である。

当年度は89.4%で、前年度87.8%に比べ1.6ポイント上昇した。

イ 医業収益対医業費用比率(医業収支比率)

医業収益と医業費用の対比により業務活動の能率を表すこの比率は、病院の収益力の真の姿をみる重要な指標で、「100%以上、高いほど良好である」とされている。

当年度は84.6%で、前年度82.8%に比べ1.8ポイント上昇した。

ウ 純利益対総収益比率

企業の健全性、収益性を表すこの比率は、「高いほど良好である」とされている。

当年度は△11.8%で、前年度△13.9%に比べ2.1ポイント上昇した。

エ 総資本利益率

総資本に対する利益の割合を表すこの比率は、「高いほど収益性が高い」と判断される。

当年度は△5.0%で、前年度△5.4%に比べ0.4ポイント上昇した。

(3) 経営分析表

分析項目		平成25年度	平成24年度	算式	
構成比率	固定資産構成比率	85.9	86.0	$\frac{\text{固定資産} + \text{繰延勘定}}{\text{総資産}} \times 100$	$\frac{5,376,858,100}{6,261,692,077}$
	流動資産構成比率	14.1	14.0	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}} \times 100$	$\frac{884,833,977}{6,261,692,077}$
	固定負債構成比率	59.0	59.0	$\frac{\text{固定負債} + \text{借入資本金}}{\text{総資本}} \times 100$	$\frac{3,695,554,292}{6,261,692,077}$
	流動負債構成比率	2.1	2.3	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資本}} \times 100$	$\frac{133,744,528}{6,261,692,077}$
	自己資本構成比率	38.8	38.7	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$	$\frac{2,432,393,257}{6,261,692,077}$
財務比率	固定比率	211.4	212.5	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$	$\frac{5,143,071,463}{2,432,393,257}$
	固定長期適合率	83.9	84.1	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本} + \text{固定負債}} \times 100$	$\frac{5,143,071,463}{6,127,947,549}$
	流動比率	661.6	600.3	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{884,833,977}{133,744,528}$
	当座比率	634.5	580.4	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{848,634,475}{133,744,528}$
	現金預金比率	255.4	244.5	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{341,631,911}{133,744,528}$
収益率	総収益対総費用比率 (総収支比率)	89.4	87.8	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	$\frac{2,756,212,709}{3,081,532,488}$
	医業収益対医業費用比率 (医業収支比率)	84.6	82.8	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$	$\frac{2,480,568,332}{2,932,889,599}$
	純利益対総収益比率	△ 11.8	△ 13.9	$\frac{\text{当年度純利益}}{\text{総収益}} \times 100$	$\frac{\Delta 325,319,779}{2,756,212,709}$
	総資本利益率	△ 5.0	△ 5.4	$\frac{\text{当年度純利益}}{\text{平均総資本}} \times 100$	$\frac{\Delta 325,319,779}{6,449,108,658}$
	自己資本利益率	△ 13.0	△ 14.1	$\frac{\text{当年度純利益}}{\text{平均自己資本}} \times 100$	$\frac{\Delta 325,319,779}{2,498,954,032}$

- (注) 1 総資産 : 固定資産+流動資産+繰延勘定
 2 負債 : 固定負債(欠損補てんのための企業債・他会計負担金)+流動負債
 3 資本金 : 自己資本金+借入資本金(建設改良のための企業債・他会計借入金)
 4 自己資本 : 自己資本金+剰余金(資本剰余金+利益剰余金)
 5 資本 : 自己資本金+借入資本金+剰余金
 6 総資本 : 負債+資本
 7 医業収益 : 医業収益+救急医療の確保に要する経費
 8 平均〇〇 : $\frac{\text{期首〇〇} + \text{期末〇〇}}{2}$

審 查 資 料

別表 1

病院事業比較

科 目	借		方		対 前 年 度 比	
	平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		増 減 額	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
医 業 費 用	2,932,889,599	95.2	2,921,385,688	95.1	11,503,911	0.4
給 与 費	1,807,654,270	58.7	1,780,010,209	57.9	27,644,061	1.6
材 料 費	335,713,724	10.9	346,458,427	11.3	△ 10,744,703	△ 3.1
経 費	436,519,616	14.2	438,057,341	14.3	△ 1,537,725	△ 0.4
減 価 償 却 費	340,480,943	11.0	344,269,792	11.2	△ 3,788,849	△ 1.1
資 産 減 耗 費	3,994,346	0.1	3,585,950	0.1	408,396	11.4
研 究 研 修 費	8,526,700	0.3	9,003,969	0.3	△ 477,269	△ 5.3
医 業 外 費 用	148,642,889	4.8	150,967,747	4.9	△ 2,324,858	△ 1.5
支 払 利 息	87,022,160	2.8	89,128,149	2.9	△ 2,105,989	△ 2.4
患 者 外 給 食 材 料 費	576,750	0.0	661,700	0.0	△ 84,950	△ 12.8
繰 延 勘 定 償 却	25,807,704	0.8	24,981,919	0.8	825,785	3.3
雑 損 失	35,236,275	1.2	36,195,979	1.2	△ 959,704	△ 2.7
特 別 損 失	0	0.0	0	0.0	0	—
そ の 他 特 別 損 失	0	0.0	0	0.0	0	—
合 計	3,081,532,488	100.0	3,072,353,435	100.0	9,179,053	0.3

損益計算書

(単位 円・%)

科 目	貸		方		対 前 年 度 比	
	平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		増 減 額	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
医 業 収 益	2,435,789,332	88.4	2,373,561,916	88.0	62,227,416	2.6
入 院 収 益	1,561,912,655	56.7	1,523,809,662	56.5	38,102,993	2.5
外 来 収 益	612,973,271	22.2	595,667,171	22.1	17,306,100	2.9
そ の 他 医 業 収 益	260,903,406	9.5	254,085,083	9.4	6,818,323	2.7
医 業 外 収 益	320,423,377	11.6	322,996,358	12.0	△ 2,572,981	△ 0.8
受取利息及び配当金	104,861	0.0	126,022	0.0	△ 21,161	△ 16.8
他 会 計 負 担 金	288,800,677	10.5	292,015,578	10.9	△ 3,214,901	△ 1.1
患 者 外 給 食 収 益	581,097	0.0	657,181	0.0	△ 76,084	△ 11.6
そ の 他 医 業 外 収 益	24,787,742	0.9	23,789,577	0.9	998,165	4.2
補 助 金	6,149,000	0.2	6,408,000	0.2	△ 259,000	△ 4.0
小 計	2,756,212,709	100.0	2,696,558,274	100.0	59,654,435	2.2
当 年 度 純 損 失	325,319,779	—	375,795,161	—	△ 50,475,382	△ 59.4
合 計	3,081,532,488	—	3,072,353,435	—	9,179,053	0.3

病院事業比較

科 目	借		方		対 前 年 度 比	
	平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		増 減 額	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減 額	増 減 率
固 定 資 産	5,143,071,463	82.1	5,451,606,504	82.1	△ 308,535,041	△ 5.7
有 形 固 定 資 産	5,138,509,544	82.1	5,446,829,359	82.1	△ 308,319,815	△ 5.7
土 地	228,810,818	3.6	228,810,818	3.4	0	0.0
建 物	3,892,643,819	62.2	3,893,113,819	58.7	△ 470,000	0.0
構 築 物	92,828,228	1.5	92,828,228	1.4	0	0.0
給 排 水 施 設	537,890,375	8.6	537,890,375	8.1	0	0.0
電 灯 電 力 施 設	698,641,359	11.1	698,641,359	10.5	0	0.0
冷 暖 房 施 設	1,087,964,534	17.4	1,087,964,534	16.4	0	0.0
医 療 器 械 備 品	1,751,618,897	28.0	1,795,449,863	27.1	△ 43,830,966	△ 2.4
そ の 他 固 定 資 産	218,631,458	3.5	213,356,458	3.2	5,275,000	2.5
建 設 仮 勘 定	0	0.0	0	0.0	0	—
減 価 償 却 累 計 額	△ 3,370,519,944	△ 53.8	△ 3,101,226,095	△ 46.7	△ 269,293,849	△ 8.7
無 形 固 定 資 産	4,561,919	0.1	4,777,145	0.1	△ 215,226	△ 4.5
電 話 施 設 利 用 権	1,809,281	0.0	1,809,281	0.0	0	0.0
そ の 他 無 形 固 定 資 産	2,752,638	0.1	2,967,864	0.1	△ 215,226	△ 7.3
流 動 資 産	884,833,977	14.1	932,431,140	14.0	△ 47,597,163	△ 5.1
現 金 預 金	341,631,911	5.5	379,766,765	5.7	△ 38,134,854	△ 10.0
未 収 金	507,002,564	8.1	521,714,395	7.8	△ 14,711,831	△ 2.8
貯 蔵 品	33,199,502	0.5	27,949,980	0.4	5,249,522	18.8
前 払 金	0	0.0	0	0.0	0	—
そ の 他 流 動 資 産	3,000,000	0.0	3,000,000	0.0	0	0.0
繰 延 勘 定	233,786,637	3.7	252,487,595	3.8	△ 18,700,958	△ 7.4
退 職 給 与 金	26,590,191	0.4	29,549,161	0.4	△ 2,958,970	△ 10.0
控 除 対 象 外 消 費 税 額	207,196,446	3.3	222,938,434	3.4	△ 15,741,988	△ 7.1
資 産 合 計	6,261,692,077	100.0	6,636,525,239	100.0	△ 374,833,162	△ 5.6

貸借対照表

(単位 円・%)

科 目	貸		方		対 前 年 度 比	
	平成 25 年 度		平成 24 年 度		増 減 額	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減 額	増 減 率
流 動 負 債	133,744,528	2.1	155,327,657	2.3	△ 21,583,129	△ 13.9
未 払 金	120,359,827	1.9	142,081,401	2.1	△ 21,721,574	△ 15.3
預 り 金	13,384,701	0.2	13,246,256	0.2	138,445	1.0
(負 債 合 計)	133,744,528	2.1	155,327,657	2.3	△ 21,583,129	△ 13.9
資 本 金	4,709,192,386	75.2	4,929,320,870	74.3	△ 220,128,484	△ 4.5
自 己 資 本 金	1,013,638,094	16.2	1,013,638,094	15.3	0	0.0
借 入 資 本 金	3,695,554,292	59.0	3,915,682,776	59.0	△ 220,128,484	△ 5.6
剰 余 金	1,418,755,163	22.7	1,551,876,712	23.4	△ 133,121,549	△ 8.6
資 本 剰 余 金	5,332,030,827	85.1	5,139,832,597	77.3	192,198,230	3.7
資 本 剰 余 金	4,565,711,436	72.9	4,373,513,206	65.8	192,198,230	4.4
国 庫 補 助 金	93,307,000	1.5	93,307,000	1.4	0	0.0
県 補 助 金	606,532,000	9.7	606,532,000	9.1	0	0.0
寄 附 金	851,391	0.0	851,391	0.0	0	0.0
その他資本剰余金	65,629,000	1.0	65,629,000	1.0	0	0.0
利 益 剰 余 金	△ 3,913,275,664	△ 62.5	△ 3,587,955,885	△ 54.1	△ 325,319,779	△ 9.1
減 債 積 立 金	0	0.0	0	0.0	0	—
当年度未処理欠損金	3,913,275,664	62.5	3,587,955,885	54.1	325,319,779	9.1
当年度未処分利益剰余金	0	0.0	0	0.0	0	—
前年度繰越欠損金	3,587,955,885	57.3	3,212,160,724	48.4	375,795,161	11.7
当 年 度 純 損 失	325,319,779	5.2	375,795,161	5.7	△ 50,475,382	△ 13.4
(資 本 合 計)	6,127,947,549	97.9	6,481,197,582	97.7	△ 353,250,033	△ 5.5
負 債 ・ 資 本 合 計	6,261,692,077	100.0	6,636,525,239	100.0	△ 374,833,162	△ 5.6